

**製品名: SODE ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18100**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	SOD3
別名	
遺伝子 ID	6649.0
SwissProt ID	P08294
免疫原	ヒト SODE 由来の合成ペプチド AA 範囲: 67-117

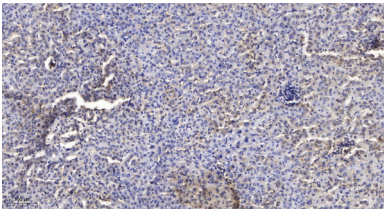
**背景**

この遺伝子は、スーパーオキシドディスムターゼ (SOD) タンパク質ファミリーのメンバーをコードします。SOD は、スーパーオキシドラジカルを過酸化水素と酸素に変換する触媒作用を持つ抗酸化酵素であり、脳、肺、その他の組織を酸化ストレスから保護する

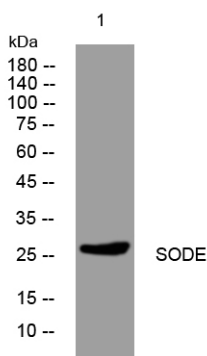
と考えられています。コードされているタンパク質のタンパク質分解処理により、細胞外マトリックス (ECM) との相互作用能力が異なる2つの異なるホモテトラマーが形成されます。完全なタンパク質 (C型サブユニット) からなるホモテトラマーは、ヘパリンに対する親和性が高く、ECMに固定されます。タンパク質分解によって切断されたタンパク質 (A型サブユニット) からなるホモテトラマーは、ヘパリンに対する親和性が低く、ECMと相互作用しません。この遺伝子の変異は、心臓病リスクの増加と関連している可能性があります。 [RefSeq 提供、2015年10月],触媒活性:  $2 \text{スーパーオキシド} + 2 \text{H}^+ = \text{O}_2 + \text{H}_2\text{O}_2$ ,補因子: サブユニットあたり1つの銅イオンと結合する,補因子: サブユニットあたり1つの亜鉛イオンと結合する,機能: 細胞内で通常生成され、生物系に毒性のあるラジカルを破壊する,機能: スーパーオキシドラジカルを過酸化水素と酸素に変換することにより、活性酸素中間体の毒性作用から細胞外空間を保護する,オンライン情報: スーパーオキシドディスムターゼのエントリー,多型: 約2.2%の個体に見られる変異体 Gly-231 は、ヘパリン結合親和性の低下と、その結果としての内皮細胞表面への結合能力の障害により、血漿 EC-SOD 含有量が10倍に増加する,類似性: Cu-Zn スーパーオキシドディスムターゼファミリーに属する,細胞内局在: 99%の EC-SOD は組織間質中のヘパラン硫酸プロテオグリカンに固定されており、その1%は血管系において血漿と内皮細胞の間で平衡状態にある,サブユニット: ホモ四量体,組織特異性: 血管、心臓、肺、腎臓、胎盤で発現する。血漿、リンパ液、滑液などの細胞外液中に存在する主要な SOD アイソザイム。

## 研究分野

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。



HpeG2 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、SODE ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°Cで一晩